

齋藤 譲一（さいとう じょういち）

制作・演出・舞台技術・劇場コンサルタント

神奈川県生まれ。日本大学芸術学部卒業。ススキダ演技研究所実習科終了、劇団阿香車設立参加、望月優子友の会を経て昭和 54 年特殊法人国立劇場舞台技術部入社、その後国立能楽堂に転任。平成 5 年から埼玉県芸術文化振興財団彩の国さいたま芸術劇場舞台技術課長、管理統括室長、埼玉会館館長を経て、2009 年 3 月に埼玉県芸術文化振興財団を退職。現在は、一般社団法人日本劇場技術者連盟理事長、公益社団法人日本演劇協会監事、政策研究大学院大学文化政策コースアドバイザー、中央工学校エンターテインメント科講師。劇場の価値についての講座や「演劇・舞台技術ワークショップ」などの地域支援や交流活動も多く、劇場建築及び管理・運営企画アドバイザーをしている。川口市文化三賞選考委員、芸術文化審議会委員、鎌ヶ谷市きらりホールなど。演劇、邦楽、各種イベントなどの演出活動も多く、アジア舞台芸術家交流事業インドネシアとの共同制作「虹の伝説」の構成・演出・脚本や「薩摩琵琶」、「坂本竜馬」の演出など。新評論『創造を支える劇場技術者』ペリカン社『舞台芸術専門家という仕事』や機関紙『国際交流 72～78 号に寄稿。令和 2 年度文化庁長官表彰。